

平成28年度  
教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検評価報告書

平成30年3月  
湯沢町教育委員会

## 教育事務、事業の点検・評価

平成 28 年 4 月に湯沢認定こども園が開園し、全国でも稀な保小中を通した一貫教育が本格スタートしました。

5 月には、教育委員会が移転し、生涯学習係を除く教育委員会部局とこども園、小学校、中学校が湯沢学園に集約され、迅速な対応ができるようになりました。

湯沢学園内の連携を深め、家庭、地域と協働して、保小中の連続性のある教育体制の構築を図ってまいります。

平成 28 年度における教育委員会所管決算額は人件費を除き児童福祉費 233,828 千円、教育費は文教施設整備が 27 年度に完了したため 350,244 千円となり町決算額に占める割合は 9.9%となりました。

児童福祉費の内訳としては子育て総合支援費に 7,331 千円、児童クラブ費に 7,023 千円、認定こども園の運営管理費として 85,875 千円、平成 27 年度より税務町民部へ事務が移管された児童手当費 98,457 千円などとなっています。

教育費の内訳としては、学校関係では奨学金等就学奨励費 23,939 千円、小学校・中学校にかかる費用として学園管理費 135,598 千円、学園振興費 22,476 千円、学校給食事業費 89,811 千円となっています。社会教育関係は、公民館費 33,573 千円、うち全国童画展開催費用 5,456 千円で、文化財保護費 11,304 千円、うち雪国館の指定管理料として湯沢町観光協会へ 9,000 千円、生涯スポーツ推進費 14,302 千円、うち湯沢町総合型地域スポーツクラブ「ユースポ」へ町の体育事業のため 8,845 千円を補助しています。

### 1 教育委員会

#### (1) 教育委員

教育委員会の構成は委員長、委員長職務代理者、委員 3 名（うち教育長 1 名）で構成されています。平成 29 年 4 月からは、新教育長制度となり、教育長、教育長職務代理者、委員 3 名の構成となります。

教育委員会は定例会を毎月 1 回開催し教育委員会の主な事業について審議しており、活動は各案件の審議だけでなく入学式、卒業式、文化・スポーツなど各種行事にも積極的に参加しております。

#### (2) 教育委員会事務局

教育委員会事務局では、子育て教育部長、管理指導主事 1 名を配置し、教育課、子育て支援課、認定こども園それぞれで独自施策・課題の対応を進めております。

ア 教育課 学校教育係

教育課学校教育係は、主に小中学校に関する運営及び施設の維持管理等に関する事務を行っております。部長が課長を兼務し、係長1名、主事1名、事務嘱託員1名、校務員は嘱託員を含む3名で構成されています。

#### イ 教育課 生涯学習係

生涯学習係は、公民館活動や生涯学習の推進、スポーツ振興等の事務を行っており、参事兼係長1名、主任1名、主事1名、嘱託員1名で構成されています。

#### ウ 子育て支援課

子育て支援課は、認定こども園、児童クラブ等の事務を行っており、町長部局から事務委任されています。また、子育て支援関連業務について総合的に対応する体制を構築し、業務を進めております。

課の構成は、課長1名、参事兼係長1名、保健師1名、保育士1名、社会教育指導員（嘱託）1名で構成されています。

#### エ 認定こども園

保育園統合により4月に開園した認定こども園では、湯沢町の園児が集まり、新しい施設で元気に遊ぶ姿が見られました。

新しい園の体制は、園長1名、副園長2名、指導保育士2名、保育士14名、調理員4名で構成されています。

## 2 各課・係の点検

### (1) 教育課 学校教育係関連

#### ア 湯沢学園

湯沢学園が開校して3年目を迎え、こども園が開園して保小中一貫教育が本格スタートし、学園内に園児、児童、生徒と一緒に過ごす機会ができました。継続して「湯沢っ子絆活動」や三俣祭りへの3年生参加など地域に積極的に出向き、開かれた学校として活動しました。本年度、秋桜ハーフマラソンには、ランナー、運営・応援ボランティアとして小学生217名、中学生117名が参加し、参加者・沿道の方から高評価をいただきました。また、県の補助を活用してリーフレットを作成し事業者に配布するなどキャリア教育の充実に努めました。「第4回教育フェスティバル」では、小学校学習発表会、中学校合唱コンクールに合わせ、広く町民の皆さまに湯沢学園の教育目標等の浸透を図っています。

前年度、建設工事は完了しましたが、継続して外構等施設整備を実施しており、28年度は、マイクロバス車庫新築工事、南側駐車場舗装工事、記念碑移転等を行いました。

#### イ コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール制度を取り入れて3年目を迎えました。平成28年度は、学校運営協議会について保護者や地域に理解・協力を得るため、委員が町内会長

連絡会議や地区 PTA など主旨や内容の周知と「あいさつ運動」の推進に取り組みました。また、教育フェスティバル第 1 部では、学校運営協議会主催で『挨拶あふれる湯沢町』を目指して、今、私にできること」というテーマでパネルディスカッションを行いました。学校運営協議会と学園ボランティアが両輪となり地域に開かれた湯沢学園を目指します。

#### ウ 学力・学習状況

全国学力・学習状況調査等の結果では良い年度も見られるようになってきましたが、ばらつきもあり、学力向上は引き続いての課題です。

学校生活において「自己肯定感」が低いことも学力向上の課題となってきましたが、メディアと接する時間を減らして家庭学習の時間を確保していくことと併せて改善を図っていきたいと考えています。

#### エ 体力の状況

体力的には概ね良好な結果が得られていますが、幼少時代からの戸外遊びの減少なども要因により全国的にも昭和 60 年頃の数値より劣っているため、スクールバス登校の影響も注視しながら学園生活を通し改善を図っていきます。

#### オ 特別支援教育

小中学校における特別支援が必要な対象児童生徒が増加しております。そのため、知的障がい 3 学級、自閉症・情緒障がい 1 学級の特別支援学級を設置するほか、通級指導教室も設置するなど、制度的な整備をしてきており、介助員・相談員の確保に努めています。また、総合子育て支援センターにおいて、保小中一貫した支援体制を作り充実を図ってきました。

#### カ いじめ・不登校状況

いじめは、小学校で 1 件、中学校でも 2 件が報告されましたが、個別指導や学年集会などで指導し、収束に向かいました。

なお、「湯沢町いじめ防止基本方針」を基に関係者とともに取り組んでいます。不登校（病気を除く 30 日以上欠席）については、小学校で 3 件発生し、中学校でも 3 件発生しました。小学校の 3 件のうち、2 件は平成 28 年度中に登校できるようになりましたが、その他は指導を継続しました。

#### キ マグナ国際交流事業

国際交流事業の姉妹都市生徒受入事業では、生徒 8 名、引率 2 名、計 10 名が 7 月 3 日から 13 日まで湯沢を訪れ、湯沢学園生徒派遣事業では、8 年生 3 名、引率 2 名、計 5 名が 7 月 28 日から 8 月 10 日まで米国ユタ州マグナにてホームステイ、文化交流等の貴重な体験をしてまいりました。

## (2) 教育課 生涯学習係関連

### ア 公民館事業

湯沢町成人式は式典の後、新成人の実行委員会によりプログラムを作り開催し

ています。これからの湯沢町を担う新成人が集まるこの機会を捉えて U ターン等の施策が取れればと考えています。

鼓童交流公演を開催し、ホール満席となる 350 名が観覧しました。また、講座やサークル等で作った作品や踊り等を披露する場として湯沢町総合文化祭や芸能発表会を実施しています。成果の発表の場は生涯学習のステージとして必要であり、意欲向上に繋がるため今後も継続していきます。

#### イ 公民館講座

公民館講座は趣味・学習・生活を柱にした講座を実施し、マンションに居住の方を含め多くの方々が参加しています。

若い世代をターゲットとした「アイスコーヒーセミナー」や「日本酒セミナー」を開催し、公民館を身近なものと感じていただきました。また、中国からの観光客が増加していることから、すぐ使える「初級中国語講座」を開催しました。

小学生を対象とした「食育講座」や「書道講座」を開催し、楽しみながら学ぶ講座として多くの参加がありました。今後も多くの方が参加できるような講座を開設したいと考えています。

#### ウ 図書室の運営

公民館に設置している図書室には、およそ 19,000 冊蔵書されています。今後もベルシステムにより町民が興味ある本を提供します。また、学園図書室は土曜日と夏季休業期間に一般開放を実施しましたが、利用者が少ないことから、今後の開放について検討が必要と考えています。

#### エ 地区館事業

各地区館活動を推進し、地域のコミュニティ活動の活性化を図っています。地区館事業が少ない地区もありますが、このコミュニティ活動の活性化により災害時にも自主防災として大きな効果があるものと考えています。

#### オ 全国童画展

全国童画展は 21 回を迎えました。今回の応募作品 252 点から入賞入選作品 51 点を選出しました。作品展は、湯沢町公民館、湯沢カルチャーセンター、南魚沼市図書館、新潟ふるさと村で開催しました。また、南魚沼市トミオカホワイト美術館で川上四郎原画展を開催し、期間中 1,644 名の方からご覧いただきました。

今後とも童画の普及に努めていくこととしています。

#### カ 文化財保護

雪国館は指定管理者制度を導入し湯沢町観光協会が運営しております。文化の香り高い町として観光と歴史を融合させ企画展や体験事業を実施し、入り込みの拡大を図っています。

南魚沼地域の美術館・博物館のみなさんと南魚沼・湯沢ミュージアム連絡協議会を組織し各ミュージアムを回る企画等を推進し、誘客の促進を図っています。

#### キ スポーツ振興

スポーツ振興では、総合型地域スポーツクラブ「ユースポ！」に町のスポーツ関係を委託し実施しています。ユースポの頑張りもあり非常に多彩な運動・健康づくりメニューが構築されていることから今後も連携強化を図り支援をしていきます。

### (3) 子育て支援課・認定こども園関連

#### ア 湯沢認定こども園開園

平成 28 年 4 月に、町内の 4 園（神立保育園、土樽保育園、中央保育園、湯沢保育園）を廃止し、新たに「湯沢認定こども園」を開園しました。施設の認可定員は 240 名と県下でも一二を争う規模の認定こども園となりました。開園と同時に預かり時間を拡充（7 時 30 分から 19 時まで）したほか、県内でも公立の認定こども園では例のない休日保育（年末年始を除く全ての休日）を実施するなど、充実したサービスを提供しています。開園の準備や新しいサービスの導入で職員、保育士も大変でしたが、協力して引き続きサービスの充実に努めてまいります。

また、入園児数はこども園が開園したことにより、未満児の入園率がより一層増加した結果となりました。今後もこの傾向は続く見込みです。

#### 平成 28 年度入園児童数

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
人数	15	24	22	41	50	46	198

#### イ 放課後児童クラブ

前年度の 12 月から認定こども園棟の専用室で始まった放課後児童クラブは、平成 28 年 4 月から指定管理者制度を導入し、社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会による運営となりました。同時に、預かり時間を 19 時まで拡充したほか、長期休業のみの利用に対応するなどサービスの充実を図りました。

核家族化に伴う共働き世帯の増加により利用者は増加傾向にあり、常時利用者は前年度から 1 名増の 35 人に留まりましたが、長期休業のみの利用が 9 人となったため、夏休み等は預かり人数が 44 人となりました。

#### ウ 総合子育て支援センター

総合子育て支援センター（愛称：JumPla.net（ジャンプラネット））は、前年度の 12 月から認定こども園棟での運営が始まりました。専任の保健師と保育士が常駐していることで、相談業務等に迅速に対応できるほか、湯沢学園内にあることで、保育士や教職員との情報共有を図ることができ、支援が必要な園児・児童・生徒とその家庭に的確な支援を届けることが可能となりました。

また、専用の子育て広場での各種家庭支援事業や一時預かり事業が充実したことで、子育ての孤立化が大きく解消されることとなりました。

## エ 青少年健全育成、学園支援

青少年健全育成事業は、事務局を学園内の地域交流センターに置き、社会教育指導員を配置しています。青少年育成指導員を中心に「あいさつ運動」や各種行事での巡回や啓発活動、社会環境浄化活動などを実施しました。

学園支援では、地域交流センターを要に、通学路の見守りや書道、ダンス、調理実習などの授業へ学園ボランティアをコーディネートしています。また、認定こども園の開園にともない、学園駐車場に完成した大きな花壇の植栽や草取りに多くの方々からボランティアとして参加いただきました。